

”DARK LIGHT”


製品マニュアル


Dark Light は、Dark Star と Sunlight の二つのリバーブペダルを組み合わせ、捻りを加えて、一つのマッシブなリバーブデバイスへと拡張したコンビネーションペダルです。

////////////////////

DARK STAR

CTRL 1 と CTRL 2 はモードによって異なるパラメーターを制御します。後記するモードごとの説明を参照してください。

DECAY ではリバーブのディケイを制御します。下げ切るとリバーブテイルは比較的短くなります。DECAY を上げていくとリバーブテイルは長くなり、同時にリバーブへの入力されるシグナルが減少します。最大まで上げると、その瞬間のリバーブ音が永遠に持続するようになり、入力音にはリバーブがかかからなくなります。 がフリーズしたパットサウンドを創り出します。

DRY ではドライシグナルの音量を、ゼロから少しだけブーストした音量までで設定します。WET ではウェットシグナルの音量を、 ゼロから少しだけブーストした音量までで設定します。

モードトグルではリバーブのモードを下記の3つから選択します。

PITCH はピッチ変化を伴うリバーブです。CTRL1 と CTRL2 はリバーブのボイスングを2つに分け、オクターブアップとダウンをそれぞれ制御します。

DELAY はリバーブ後にディレイを配置するモードで、CTRL1 と 2 でディレイタイムとフィードバックを設定します。

注意：フィードバックを高く設定すると発振します。気を付けるか、リバーブの叫びを楽しみましょう。

CRUSH はリバーブ音の音質を下げるモードです。CTRL1 ではリバーブのピッチをオクターブアップからダウンまでで設定します。CTRL2 ではリバーブシグナルの音質劣化の程度を設定します。

////////////////////

////////////////////

Sunlight

RATE と DEPTH はモードによって異なるパラメーターを制御します。モードごとの説明を参照してください。

DECAY ではリバーブのディケイを制御します。下げ切るとリバーブテイルは短く、美しく減衰するようになります。最大まで上げると [REDACTED]、その瞬間のリバーブ音が永遠に持続するようになります。Input を上げていくとリバーブへの入力プレイの強さにより反応しやすくなり、古い信号の再生成を新しいノートで上書き出来るようになります。

DRY ではドライ信号の音量を、ゼロから少しだけブーストした音量までで設定します。
WET ではウェット信号の音量を、ゼロから少しだけブーストした音量までで設定します。

モードトグルではリバーブのモードを下記の3つから選択します。

TAPE はテープマシンの予測できない不安定なピッチの揺れからインスパイアされたモジュレーションリバーブです。Rate と Depth はリバーブ信号へ適用される不均衡なビブラートのレートとデプスを設定します。

COMB は、リバーブの後に配置された4つの短いディレイラインによってサウンドが重なり強調されることで、固定されたフランジャーのようなコムフィルタサウンドになるリバーブです。Rate は4つ全てのディレイタイム、Depth はディレイのフィードバック [REDACTED] (またはレゾナンス) を設定します。

PASS では2つのリバーブ経路にバンドパスフィルタを適用し、更にランダムなサンプルアンドホールドでフィルターのカットオフ周波数が決定されるモードです。Rate はサンプルアンドホールドのタイミグを設定し、Depth は決定されるカットオフ周波数のレンジを調整します。 [REDACTED] [REDACTED] レートが最小の場合、Depth で固定値のカットオフ周波数が設定できます。

//////////

ROUTING

Dark Light では、Dark Star と Sunlight で計4つの入出力を使用した様々なルーティングが可能です。

まず、どちらかの入力一つと、どちらかの出力一つだけを使えばモノラルとなり、Dark Star と Sunlight をパラレルで使用することができます。もしくは、Sunlight の出力から Dark Star の入力、もしくは Dark Star の出力から Sunlight の入力へとパッチングすれば、モノラルで直列のルーティングにすることも可能です。

すべてのジャックを使用すればステレオイン/ステレオアウトになります。更に、入力をどちらか一つ、出力を二つ使えばモノラルからステレオへとスプリットすることができます。

SPREAD コントロールはこれらのステレオオペレーション時に、ステレオフィールドの広さを設定するコントロールです。上げきると、片方のジャックからは Sunlight のみ、もう片方からは Dark Star のみのシグナルが出力されます。逆に下げ切ると、両方のジャックから二つのエフェクトが同じ音量で出力されるようになり、ファントムセンターを生み出します。

モノラルで使用し、パラレルでルーティングしている場合、SPREAD は下げ切るのがおすすめです。またモノラルで直列のルーティングの場合は、SPREAD を下げ切るのがおすすめです。

Footswitches

三つのフットスイッチのうち、左右のフットスイッチは Dark Star と Sunlight それぞれのバイパススイッチです。通常のラッチ操作だけでなく、長押しでモーメンタリーの操作も可能です。

真ん中のフットスイッチでは、Dark Star と Sunlight の両方、もしくは片方のリバーブ音を永遠にホールドすることができます。このフットスイッチもラッチ操作だけでなく、モーメンタリーで操作することができます。その上の Hold トグルでは、ホールドするリバーブ音を選択することができます。また、Hold LED はそれぞれのリバーブ音がホールドされているときに点灯します。

EXP

EXP ジャックを使えば、CTRL1、CTRL2、Decay、Decay、Rate、Depth、Input をあらゆる組み合わせで外部コントロールすることができます。デフォルトでは、EXP には CTRL1 と Depth が割り当てられています。エクスペッションの設定方法は以下の通りです。

1. Hold LED が交互に点滅するまで、3つのフットスイッチを同時に5秒程度押し続けます。
2. コントロールしたいノブを回し、EXP ペダルをかかと側に下げ切った時の設定値を決めます。
3. Hold LED がより速く交互に点滅するまで、再び3つのフットスイッチを同時に5秒程度押し続けます。
4. コントロールしたいノブを回し、EXP ペダルをつま先側に踏み込んだ時の設定値を決めます。
(注意：この時、設定を変えなかったコントロールは自動的にEXPコントロールが無効になります。また全ての設定を変えなかった場合、EXPコントロールはデフォルトの割り当てに戻ります。)
5. Hold LED の点滅が止まるまで、3つのフットスイッチを同時に5秒程度押し続けます。

TRAILS

ペダル内部のスイッチを ON にすることで、ペダルをバイパスした際にリバーブトレイルを残すことができます。この設定はデフォルトで ON (バッファードバイパス) になっています。OFF にするとトゥルーバイパスになり、ペダルをバイパスした際にリバーブ音も止まるようになります。

(注意：パラレルモノのルーティングで Dark Star と Sunlight の一方だけをバイパスすると、TRAIL の設定によらずリバーブ音が残る場合があります。)

Dark Light はセンターマイナス 9V 150mA の電源が必要です。